



かわみなみ

# 議会だより



No. 115

平成29年(2017年)

2月1日発行

大猪久保地区のもぐらたたき

# 新春対談 若手経営者に聞く



(11ページアンケート結果掲載)

今年で5回目となる新春対談を、司会に地域おこし協力隊員の尾崎由美さんを迎え、対談者に川上昇議長・酪農家の黒木俊勝さん・養豚農家の小野 彩さん・和牛繁殖農家の森田佑望(ゆみ)さんで行った。



**司会(尾崎)** アンケートを見て、皆さんがもし20歳当時なら川南に住みたいと答えるか。

**黒木** 就農を決めていたので「はい」。酪農を両親と共に自分が入ることで規模拡大は考えていた。

**森田** 大学生だった。元々都城なので20歳の頃は「いいえ」。

**小野** 大学生で将来は色々な所に行きたかったので「いいえ」。

**議長** いろいろ考える年代なので外に出たいと考えるだろう。

**尾崎** 今の仕事に就くきっかけは。

**森田** もともとサラリーマン家庭で大学3年の時に川南に住む叔父が体調を崩し、両親がおばあちゃんの実家である川南に住み、帰省する形になった。就職は決まっていたが大学4年の時に叔父が亡くなり、その時に牛の出産をみた。これが牛のすべてなんだ。こんなに大変なことを叔父がしていた。後継者がいないことですべてを売却と聞いた時に「やってみよう」と思った。スーパーで見る肉がこういうことを乗り越えて出ていることに感動を覚えた。



**小野** よその養豚業者に勤めていた。帰って来て経営などに興味をもち数字をみながら(売上・経費)

楽しくなってきた。

**尾崎** 住んでいて感じる川南の魅力は。

**黒木** 地元にいると見えないかも。他の町の方と話す川南はウエルカムだな。開拓の町で色々な意見を受け入れてくれて協議して多様な意見を聞く姿勢が川南の良さ。否定はしない風潮があるように思う。川南は大好き。

**小野** 養豚がやれる環境に恵まれている。

**森田** ありきたりの意見だが(住む場所)4か所経験して、人が温かい。町が小さいからかもしれないが普段会わない人(町長や組合長)と距離が近い。

**尾崎** 住みたいかどうか迷う新成人の気持ちがあるか？そして川南に希望することは？

**小野** 色々な所に行ってもらいたい気はする。

**黒木** 仕事はない、給料が低い、これでは家庭を持てない。子供を大学まで出せない。川南に住むと職の選択が狭い。

**森田** 20歳には物足りない。もっとキャピキャピしたい。と感じてる。川南に限らず宮崎自体がそんな感じ。二次会はスナック？なんだ～(笑)と思った。

**尾崎** 私は食べ物目当てで(笑)来た。東京では食べものはスーパーでしか買えない。震災の時にスーパーに物が並ばなくなった。地面のそばに住もうと思った。



**黒木** 定年後に住む人が多いと感じる。子育て世代には厳しい。帰ってきて農業をすればいい時代ではないが、和牛などは若手(後継者)が頑張っ

# 羽ばたこう川南で

いる。  
**議長** 仕事がないと聞くと、事業所は従業員を探している。仕事を選ばなければあるが、収入を考えると難しい。楽しい場所がないといわれるがそれを営む人は住む人が少ないので採算が合わない。川南に住むには情熱が必要。

**黒木** 収入さえあれば、子育て環境も充実してる。住みやすいと思う。



**尾崎** 都会では子供に声がかげづらい。ここでは子供が挨拶してくれてホッとする。お金では買えないものがある。収入は減ったが生活と心の余裕がある。これからは都会から地方へ移住する人は増えると思う。

**議長** 我々が普段何気なく食べている川南の食材は素晴らしい。

**尾崎** 少子高齢化の中で、国から女性の活躍や出産を求められることについては。

**小野** なんて結婚なんだろう。経営をやり始めるとそれ以外の道も考えられるのではないかと感じる。

**森田** 私は早く結婚したい。母と二人でやっているのが若いうちに産みたいし心も満たされたい。牛が好きでずっと牛舎にいる。でも牛とばかり話してたら、婚期逃すかな(笑)

**黒木** (子牛の)哺乳を嫁が始めたら10何年やってきた自分を嫁が1週間で超えた。女性は見る目が違う。のみ込みや集中力に女性は優れてる。牛に接するのも優しい。愛情がないと技術も進歩しない。

**尾崎** 川南の子育て支援は、18歳以下の医療費の助成等がある。



**黒木** 助かる。(子育て)出来る環境になると生活基盤がしっかりしていれば子育て支援は十分と思う。不安があれば相談できる環境や若い声を聞いてもらえる。しかし今は女性もそうだが、男性も結婚しない。マッチングをする所(人)がない。男性も自分から求めない。おせっかいお婆さんがいなくなった。

**尾崎** 男性は仕事一本で行けるけど、女は仕事だけしてたらいろいろ言われる。

**小野** せっかく勉強しているのにお嬢さんに譲らないとならないのかな？

**森田** お嬢さんを迎えて二人で話しあってやっていきたい。生き抜くためには頑張る。

**議長** 「生き抜く」とは…。力強いですね。

**黒木** 女性は強いな。

**尾崎** 「強い思いが郷土を支える」と議長が言ったが、若者として町のために出来る事があるか。

**黒木** (若連会長として)地元は盛り上がっていることや、楽しくやっていると自分たちがみんなで発信していきたい。そして「帰って来たい」と思えるようにし、何かあるときに参加してもらえるようになることが自分たちのすることだと考える。都会でなくても、川南町にいても人とのつながりでビジネスになる。それで独立・起業できる環境があると良いがなかなかないと感じる。

**小野** 川南は畜産が魅力的なやりがいのある町として発信していきたい。

**森田** 同世代の人と話すのも楽しいが、叔父の世代と話すことが楽しく学べることもたくさんある。尊敬する人がいて、品評会・共進会などで積極的に取り組む姿勢がかっこよくて、私も同世代の中では前の方を走りたいと思う。今はそう感じるが30歳になったらわからない。落ちたなど言われたいように頑張りたい。



**議長** この年齢でこう言ってくれることが頼もしい。川南をいい方向にもっていききたいと言ってくれることがありがたい。

# どこまで伸びる？ふるさと納税

12月定例会においては、4億2767万3千円を追加し、総額予算は歳入歳出90億4590万8千円となった。各委員会において審査され可決された。

## ふるさと納税の実収入 25%?!

納税額は大幅に増額しているが、返礼品を含めた経費も委託料の増加などで、一般財源の充当では難しくなってきた。従ってふるさと納税は納税収入から経費を差し引くことにされる。

平成28年12月7日現在では25%~30%の実収入となる。

### 納税者による利用用途希望は

- ・町にお任せ……89.9%
- ・子育て教育への事業…… 5.9%
- ・地域振興のための事業…… 1.6%
- ・福祉への事業…… 1.0%
- ・その他…… 1.6%

### 支払方法は

- ・楽天クレジットカード……79.1%
- ・その他のクレジットカード……16.3%
- ・振込用紙…… 4.0%
- ・口座振込…… 0.3%
- ・現金書留…… 0.1%
- ・現金持参…… 0.1%

(楽天扱いは手数料が10%、ふるさとチョイス扱いは1%かかる)



### 自助が大切です

#### 防災無線の戸別受信機修繕に50万円

あなたの家の防災無線の受信機は聞き取りにくくなっていませんか。そのときは役場に連絡すれば委託業者が赴き無償で対処します。

災害はいつ起こるかわかりません。身の回りに注意。(詳しくは、まちづくり課 TEL 0983-27-8002 地域あんしん係へ)

## 保健センター開放!

### 保健センター機能訓練室活用

平成29年4月1日より施行となる。川南町民なら誰でも借りることが出来る。また使用は何でも利用できる。ただし下記の事を守って頂きたい。

- ① 許可を受けた目的以外に施設を使用しない。
- ② 他の利用者に迷惑をかけない。
- ③ 危険物及び動物類を持ち込まない。

センター使用料

区分	使用料(1時間あたり)	
	電力非使用	電力使用
機能訓練室	200円	240円
栄養指導室	200円	240円
母子健康指導室	180円	220円



栄養指導室

母子健康指導室



機能訓練室

### これで安心か?

#### 防火水槽撤去 工事に43万円

通山(東通山公民館近く)住民の強い要望であった、危険な防火水槽が撤去される。早急に実行を求めた。



## 第5回臨時会

### 町長等三役の給与減額

「議案第52号川南町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例等の一部改正について」提案では特別職の職員の期末手当の増額と三役(町長・副町長・教育長)の1月の給与分を0.1から0.05か月分を減額するもので金額では124,400円になる。議会でも様々な質問がなされたが、反対5、賛成7で可決された。

#### 反対討論 児玉 助壽

運動公園内の違法建築物建設及び撤去に伴うことで、町に損害を与えたと町執行機関が主張する約16万円の損害金を、町三役の監督責任パフォーマンスの給与減額分で相殺するもので、議員の給与増額案を人質にとり「認める」という予算案に関する提案権を乱用した議案であり、看過できない。なぜなら、本案件に関する問題で、平成27年度川南町一般会計決算は不認定となっている。その理由は、地方自治法で定める予算原則をないがしろにした上に、監査委員が決定した額で決定したのではない。

今回、議会で監査請求を求めており本議案の提出は、時期尚早であるとともに議会発議の監査請求に関する決議に矛盾するものである。

#### 賛成討論 徳弘美津子

期末増額と同時に出されている町三役に対しての減額だが、金額においては執行部が言われている金額に及ばない。基本的にこの問題は、弓友会の方が、「なぜこの駐輪場を壊したのか」というところから始まっている。色々なことで同僚議員の質問や町長の答弁もある。今後こういうことがないようにするためにどうすることがいいのか、同僚議員の質問でも弓友会のためにどうであるかが一番である。この数字の中で、今後、課の統制であるとか、法律に準じることをきちんとうたって、私たちは私たちの権利において、質疑をしたりいろんなことができる。ここの中でこれは完結していきたいと思ひ賛成討論とする。

駐輪場問題について。議会だより No114号 P7参照。

## 自宅介護はどこまで出来るか?

### 介護保険特別会計補正予算より

居宅介護サービス給付金1億333万円を減額し、地域密着型介護サービス給付費4400万円、施設介護サービス給付費3100万円、特定入所者介護サービス給付費2770万円増額した。

これは在宅での介護を受けていた人達が施設などに移行したものと考えられる。家庭での介護の在り方が段々難しくなる。

## 農業委員制度が変わる

### 農業委員定数16人から9人に!

農業委員の9人に加え、新たに推進委員として9人が配置される。

また、農業委員会の委員等選考委員会も設置される。

文教産業常任委員会の審査では、法で決められたこととはいえ、同じ仕事をやるのに農業委員と推進委員とになぜ区分するのか?また2人一組で組んでも良いのではとの意見があった。

## 家賃が下がります

### 40,000円から35,000円に(ひばりが丘住宅2)

1戸建て住宅のひばりが丘住宅2の家賃は、所得に関わらず40,000円であった。建設から10年が経過し、平成27年11月頃より持家を新築したり、家賃が高すぎるなどで退去し空き家が出始めた。現在は6戸が空き家となっている。

建設費は1戸当たり1,180万円であった。建設10年経過での家賃見直しは考えられていた。4月1日からの実施となり公募は早めに行う。(平成28年12月26日よりホームページに入居募集を掲載中)

町営住宅は住宅困窮者のためのものといわれるが、近年社会意識や環境状況の変化の中、役場内で課をこえた連携を持ち定住促進などの政策を考えるべきではとの意見があった。



# 聞いてみました

## 第5回臨時会議案質疑

### 川南町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例等の一部改正について

**Q**：不認定理由の金額47万2,323円さらに人件費のこともあり、回覧板による損害金額の16万円にもならないが根拠は。何故12月でなく1月給料から減額するのか。

**A**：これまでの事例等勘案しての結論。12月に減額すると期末手当に影響があり1月にした。

**Q**：この金額で町長は妥当と思うか。

**A**：過去の事例に従った。金額だけを言うなら何億、何千万のこともあり得、私の判断。

**Q**：駐輪場の責任で1月分の給料を減額し、期末手当を上げるのはおかしいのではないか。

**A**：駐輪場問題での減額と近隣との均衡を図る期末手当の増額は趣旨が異なるものだ。

**Q**：駐輪場はどうするのか。

**A**：当初予算の要求に向けて準備している。

## 第6回12月定例会議案質疑

### 川南町一般職非常勤職員等の任用、勤務条件等に関する条例を定めるについて

**Q**：職員にどのような影響が出るのか。

**A**：現在の臨時・嘱託・パート職員を週31時間以内という形で報酬月額が上がる効果が生じる。

**Q**：処遇改善というが、今の職員数を減らすのか。

**A**：現在より増えるのではない。

**Q**：非常勤職員の待遇・労働条件の改善と受け止めてよいのか。

**A**：待遇改善になっていく。

### 川南町税条例等の一部改正について

**Q**：具体的にどのような変更があるのか。

**A**：複数の条例改正で分かりにくいですが、個人と法人、町に係る部分に分かれる。大きくは第1に法人町民税の引き下げ、第2点が軽自動車税の取得税が廃止され、新たに環境性能割が導入。第3点目に医療費控除にスイッチOTC医薬品が加わる。最後に延滞金の利息計算の見直し、以上の4点である。

**Q**：理解して町民に知らせるのは難しいが、不利益はないのか。

**A**：この改正によって不利益を被る方はいない。

### 一般会計補正予算より

**Q**：子どもの医療費助成で、窓口負担が千円の場合と母子福祉では3割を支払い、後で返ってくる場合と二通りあるが、一律で出来なかったのか。

**A**：子どもの医療費については、郡内市町村が固まることと県の考えも必要で未だ議論に至ってない。

**Q**：台風16号による災害復旧の場所はどこか。

**A**：農地災害が大内地区水田の法面崩壊、農業用施設が2カ所で八幡頭工と井手の上地区の用水路である。

### 人事案件

教育委員会委員の任命について

任期満了により  
富山美津子氏の再任に同意。



### おわひ

議会だより第114号の記事中(P8)「株式会社つばみ」様を間違った社名で掲載しました。ここに関係各位の皆様にお詫び申し上げます。同じくP8の「トロンバス」を「フロンティアバス」と称しておりました。ここにお詫びいたします。

# 平成28年11月臨時会議案

## 賛否表

(○は賛成、×は反対、議は議長)

氏名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		荻原敏朗	中村昭人	児玉助壽	内藤逸子	税田榮	福岡仲次	三原明美	河野浩一	安藤洋之	林光政	竹本修	徳弘美津子	川上昇
平成28年11月														
川南町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例等の一部改正について	可決	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	議
平成28年度川南町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度川南町水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

# 平成28年12月定例会議案

## 平成28年12月

川南町一般職非常勤職員等の任用、勤務条件等に関する条例を定めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町農業委員会の委員等定数条例を定めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町農業委員会の委員等選考委員会設置条例を定めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町税条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町保健センター条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度川南町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度川南町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度川南町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度川南町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度川南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
「年金削減の中止を求める意見書」の採択を求める請願	不採択	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議
後期高齢者医療制度の保険料軽減特例措置の継続を求める意見書提出に関する請願	不採択	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議
介護保険制度の給付対象の縮小と利用者負担増の検討を中止し制度の充実・改善を求める意見書を国に提出すること	不採択	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	議
国民健康保険制度の改革にあたり、国庫負担割合の引き上げを求める意見書提出の請願	不採択	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	議
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

## 意見箱から

## 用水路の危険！

## 意見

子どもの通学路に大きな用水路があり、こわいです。時期によっては水位が上がり、流れも速く小学生だったら簡単に流されます。もちろんフェンスは一切ありません。役場に言ったことありますが、関わってもらえません。何かあってからでは遅いです。子どもの安全を確保することも子育て支援の重要な柱だと思います。よろしく願います。

## 回答

御意見を担当課であります農地課に伝えました。なお、過去に役場にお話しされたことがあるのですが、相手方の分かる案件について、相談や提言のあったことについては、処理経過を必ず報告するように申し添えました。一方で、安全対策が講じられていない現状では、ご家庭でできる対策として、子どもさんが用水路に近づかないよう、自分の身は自分で守るご家庭での指導も大切であると考えます。

## 食物アレルギー児童への給食は？

## 意見

私の子どもは、学校給食を楽しみにしていましたが、食物アレルギーがあり、給食で食べられないメニューがある日はお弁当持参です。お弁当持参が多い月があっても返金は一切ありません。食物アレルギーがある子に対して事前に行われた説明会で「もし、毎日お弁当持参でも返金しないのか」尋ねると、「返金を求めるなら、学校給食の停止で、毎日お弁当を持参していただけるならいただきます」との事でした。少しもこちらに寄り添う体制ではない事に私は愕然としました。子どもは給食を楽しみにしているので停止はできません。保育園では除去食を提供していただいております。小学生になると自分だけお弁当を持参して、周りのお友達の目も気になります。普段からオムライス、ケーキ、チョコレートなど子どもが大好きなものを食べさせてあげることができません。好き嫌いではありません。食べると、嘔吐、呼吸困難、命にかかわる事なので食べることがで

きないのです。今までもずいぶん食事をはじめ、お菓子や生活で我慢や気を配る生活を送っているのに、学校給食にも気を配る生活が始まりました。親の負担も大きいです。都農町、高鍋町は除去食の提供があります。川南町でも食物アレルギーがある子に対する理解を求めると共に、食育に力を入れていただきたいと思っております。

## 回答

御意見の内容を担当課であります教育課につなぎ、今後の対応等について回答がありましたので御報告します。平成28年12月現在、町内の小中学校に通う児童生徒さんの中で、アレルギーを持つ子どもさんの数が10名以上確認されています。そのため本年度は、除去食を提供するための体制づくりの検討・準備作業を様々な機関等と実施しております。その結果、平成29年4月から除去食の提供を開始するとのことです。

## 意見箱の設置場所

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| ① 川南町 役場1階ロビー    | ⑥ 川南漁協       |
| ② サンA川南文化ホール 図書館 | ⑦ JA尾鈴       |
| ③ 川南郵便局          | ⑧ 国立病院機構宮崎病院 |
| ④ 高鍋信用金庫         | ⑨ 川南病院       |
| ⑤ 宮崎銀行           | ⑩ 川南山口整形外科医院 |

毎月、議員が上記の意見箱の回収に回っております。



## 一般質問

## 町の経済活性化を



荻原 敏朗

## 【問一】町の基幹産業は

持続可能な町には一定の人口が必要で、その為暮らす人々の収入確保が不可欠。地域の経済活動を左右する本町の基幹産業は従来、農業といわれてきたが、町長の認識は。

【答一：町長】就業人口が1900人と一番多く、過去の歴史を含め、一次産業、特に農業と考えている。但し、金額ベースで見ると別の側面も見えてくるが、地域を支えてきたという意味合いを強く感じている。

【問二】川南町は、他と比して農業従事者割合が突出しており、また、生産額では農業関連製造業が占める割合が高いとの指摘もある。町長認識の基幹産業である農業支援にどの様に取り組むのか。

【答二：町長】農家の所得安定・担い手の確保に取り組んでいる。コスト削減資材の導入補助・新規ハウス設置支援、畜産部門ではクラスター事業等の取組み、青年就農給付金制度活用による新規就農者確保に努めている。今年度特に宮崎大学と連携取組をしている。

## 【問三】農業者のニーズに対応した施策を

最近、町外に農場を移された養豚農家があるが、農業者団体や農家の声と町の農業施策に乖離は無いのか。積極的に農業者団体・農家に足を運び耳を傾ける必要は無いのか。

【答三：町長】地方自治体の任務は、現場目線で問題を解決することだと思っているが、デスクワークが増えている。

## 【問四】雇用の創出は

新規就農者の呼びみや新規事業掘起しも全否定しないが、今の農家支援こそ現実的で有効な方法ではないか。ハウス農家は更新時期を迎える等現在の農家は将来に不安を抱えている。

【答四：町長】ハウス更新は予算化している。地域で必要なのは持続可能な農業で、色んな方法があるので共に考えていきたい。

## 【問五】基金活用で産業支援を

全産業が苦しみ喘いでいる。今こそ基金を有効活用すべきではないか。軽トラ市だけのためでないトイレ整備、企業誘致を図るならインフラ整備等、やるべきことはいくらでもある。

【答五：町長】まさに基金を使うときだと職員一同進めている。

## 駐輪場の違法建設問題



児玉 助壽

【問一】本事件の損害額を再利用材31万円を除く16万としているが、一度使用した材料を原価判断する評価表、積算根拠は。

【答一：町長】評価表はなく、使えるか使えないのかの判断である。

【問二】原材料費47万円を使い人件費、光熱費を支払って造った現物があるのか。

【答二：町長】原材料費、人件労務費、燃料費を使い建築した現物はない。

【問三】対価を支払い、現物が現存しないが、これにかかった全ての費用が損害にならないのか、対価とは。

【答三：町長】対価とは、そのものを建てるに当たり支払った費用である。

【問四】形のないものに対価を払っているが。

【答四：町長】結果的に建て取り壊した行為はあるが、損失額の根拠については、あくまでも実損額である。

【問五】町長は職員が町に損害を与えたことを認めた場合、地方自治法第243条2の第3項において、職員の損害賠償責任を問うことができるが、問えないとする根拠は。

【答五：町長】同法243条の2第1項に「重大な過失により損害を与たとき」と規定されており、今回の案件については、故意に近い著しい注意欠如があったと認められないので、重大な過失に当たらないと判断している。

【問六】今回の事件は、細農村公園の法令違反の目的外使用許可問題が議論される中で発生している。その渦中に入った、今回の当事者である担当課は、必然的に注意義務を怠らないようにするはずだ。それにも関わらず、わずかな注意さえすればたやすく違法、有害な結果を予測できたのに、漫然としてこれを見過し、建設課職員に法律違反を指摘されたが事故報告を怠り、内密に違法建築物を撤去し、約7か月、住民投書による事件発覚まで隠蔽し、9月議会で平成27年度一般会計決算は町財政の歴史で前例を見ない議会全会一致で町執行機関に対する不信任案に等しい決算不認定が可決され、議会発議の監査請求という町の歴史に前例のない事態を招き、給与減額の監督責任を取る事件を重大な過失としない根拠は。

【答六：町長】これまでの判断は総務課長が説明したとおりである。



### 町職員の教育について

内藤 逸子

#### 【問一】町職員の教育(業務意識の向上)

川南町運動公園弓道場横に設置した駐輪場の撤去問題は、「知らなかった・連携がなかった」町民には「お詫び」を回覧板で回した。「町長・副町長・教育長の1月分の減給を行い町政混乱の責任をとる。」ことで終わらせるのではなく、町民の納得できる政策によって示してほしい。町民から信頼され、喜びを感じる仕事をしているのか。全体の奉仕者として仕事をするのか。

【答一：町長】職員自ら学ぶと自分で学ぶという自学の姿勢を重視、自分たちで考えて提案する風土ができつつある。

#### 【問二】小中学校のトイレの洋式化促進

トイレの洋式化は、一般家庭でも社会の中でも進んでいる。排泄という行為は、生活の中で睡眠や食事と同様に重要であり、生活文化の変化に対応した学校施設の改善がトイレにも求められている。どのように改善を計るか。

【答二：町長】トイレについて改善計画はない。随時改善が必要だと認識している。

#### 【問三】地域公民館のトイレの改善

自治公民館制度になったが、地域の公民館は地域で運営し、これまで老朽化改修もみんなでお金を出し合ってきた。地域の集まりに欠かせない公民館、地域の自治活動の拠点となっている公民館のトイレの実態調査をして改善策を示してもらいたい。

【答三：町長】実態は聞いている。来年度に考えたい。



#### 【問四】おたふくかぜの予防接種に補助を

子どもの将来に大きな影響を与える乳幼児の貧困がある。おたふくかぜの予防接種を毎年しているのは高所得層が45.4%に対し、低所得層は28.7%。子育ては家族の責任だけではない。小さな子どもたちの将来を安心できるものにできないか。2年前にもおたふくかぜ定期予防接種事業となるよう国へ働きかけるよう求めたが、その後どのように取り組んできたのか。

【答四：町長】国が「安全性を確認されていない」ことから任意予防接種である。町は一部補助を実施している。

#### 【問五】災害時の生活水はどのように考えているのか。災害応急用井戸は考えていないのか。

【答五：まちづくり課長】防火水槽、プール、河川水等最大限に利用できるような仕組みにしたい。井戸も検討の一つとして今後考えていく。

#### 【問六】通浜地区の方々を守る為の避難タワー設置の考えはないのか。

【答六：町長】川南町としては、全く視野に入っていないわけではない。今現状としては、まず、避難することが優先的と考えている。

#### 【問七】通浜の児童館が平成28年度3月に閉館の理由はなにか。

【答七：町長】80名の定員の中、現在11名、非常に児童数が減少。安全性、災害時の津波。そういうことを考えると、閉館ということで方針をだしている。

#### 【問八】保護者への説明は町長が自ら十分にされたのか。

【答八：町長】出張のため担当に行ってもらった。大筋わかっていたと理解している。

#### 【問九】一年延長になるという話を聞いたが本当なのか。またその理由は。

【答九：福祉課長】平成28年度3月に閉館にしては、説明会が余りに急ぎ過ぎるという部分があったのも事実。保護者の皆様から一年延長してもらえないかという意見があったのも事実。それを受けて一年間延長となった。



### 熊本地震からの教訓

三原 明美

#### 【問一】行政の住民に対する接客対応に不満のある方が数多くおられるが、職員の接客対応の指導はどのようにされているのか。

【答一：町長】各種セミナーにて接客対応を学ぶようにしている。

#### 【問二】職員の配置は適材適所の人事になっているのか。

【答二：総務課長】職場職場の状況を見ながら、対応した職員配置をしていく。

#### 【問三】いつ来るかわからない災害に備える備蓄は足りているのか。

【答三：町長】現状では足りていない。今時点で防災倉庫もない。これからの検討。

#### 【問四】公共施設の耐震状況。番野地保育所はどうなっているのか。

【答四：建設課長】耐震改修促進法において建築面積の関係で規制対象外。

【答四：福祉課長】閉園という方向性が一応出ている状況の中で大規模な改修は行わない。今後、一部の部分は行いながら、後に避難訓練を充実させていきたい。



### 軽トラ市を町の活性化に

竹本 修

#### 1. 10周年を経た軽トラ市の中身は

【問一】軽トラ市も9月に10周年を迎え、常に来場者8千人を数え、地域における経済効果も1億3,000万円とも言われ、この川南に根付いたこの川南軽トラ市に対し、町本来の特産物のPRを行い、定住に繋がる発信の場に考えてるか。出店の状況として町内出店者が30%未満である事をどう思うか。

【答一：町長】確かに町内の出店者が、少ない様であるので商工業、農業団体への力を入れて行きたい。

【問二】特に、町の生産物、特産物等を年間通して出店に力を注いでみては。

【答二：町長】農業、漁業の町である事を踏まえ、こうした生産農家、団体組織との連携で町全体の経済効果へ結び付けたい。

#### 2. 町(行政)としての方向性を

【問三】町のPRとしてできる事はないか、来場者8千人に訴えるものはないか。定住に繋げることは。

【答三：町長】行政として何が出来るのか。今後検討してみたい。

【問四】年間において、農林漁業等の産物広報に取り組みをしてみては、例えば出店の行政コーナーの設置、軽トラカレンダーを作成し来場者に配布しては。

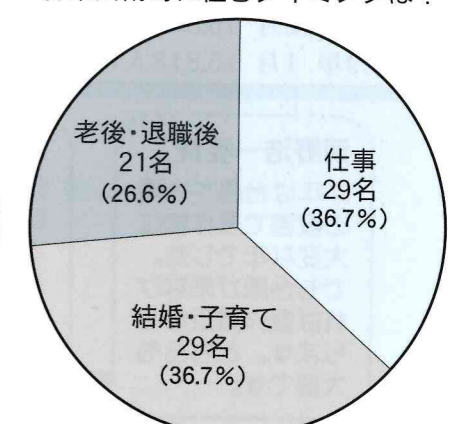
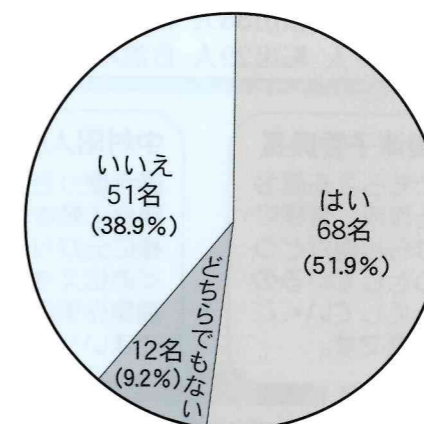
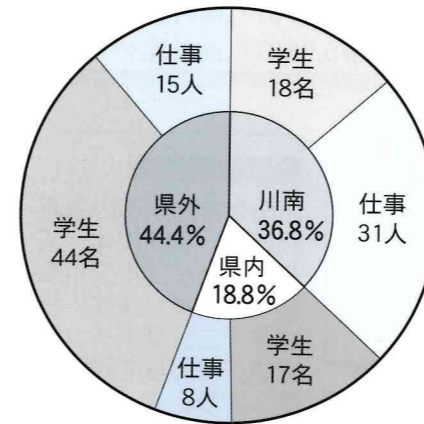
【答四：町長】この事についても具体的に考えてみたい。



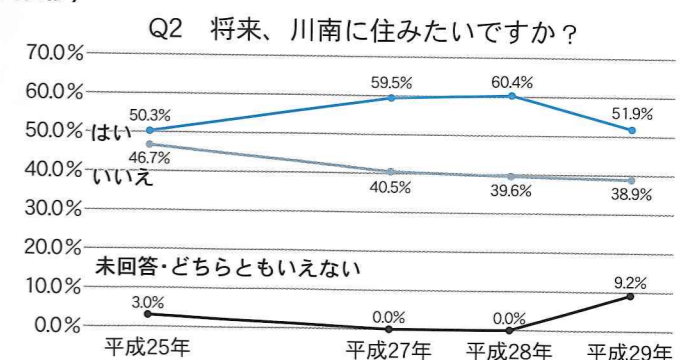
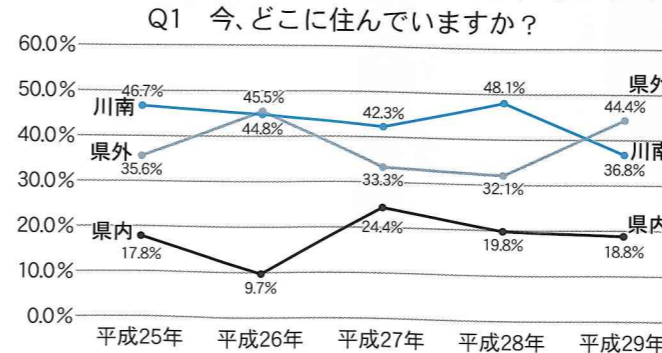
## 平成29年 成人式に行なったアンケート結果

158人参加。133人回答 回答率84.1%。

Q1 今、どこに住んでいますか？ Q2 将来川南に住みたいですか？ Q3 「はい」と答えた方に、将来川南町に住むタイミングは？



#### 平成25年～平成29年 新成人に聞く(過去5年の推移)



## わが町自慢のラグビーチーム「川南クラブ」



第24回全国クラブラグビー大会。3回目の出場となる川南クラブは1月9日の初戦で大会2連覇中の神奈川タマリバクラブに挑んだ。会場はJリーグ・サガン鳥栖の本拠地でもある佐賀県ベストアメニティスタジアム。芝の状態は素晴らしく、選手がベストパフォーマンスを発揮するには最高の会場である。



12時キックオフ。序盤は自陣深く攻め込まれ、スクラムでも圧力を受けるなど形勢は圧倒的不利。しかし何度も渾身のタックルで相手を押し返す。そんな中、先制したのは

川南だ。キャプテン中村のドロップゴールが決まる。その後もフルバック廣瀬のトライなどで加点し前半を17対17の同点で折り返す。しかし、後半は開始とともに2トライを許し最終スコアは24対52。結果は全国トップレベルの壁に跳ね返される形となったが、個々のタックルやスピードは見劣りしなかった。全国のトップも手に届くところまで来ている。個人のレベル、組織力をもう1ランク挙げ、全国制覇を目指し、川南の期待と誇りを胸に次のシーズンを戦うと誓った。(中村昭人)



川南町の人口推移…過去3か月の人口・世帯数を掲載します。 各月 1日現在

平成28年11月 15,867人(前月比…転入25人 転出26人 自然増減 -10人) 世帯5,992戸(前月比…+10)

平成28年12月 15,834人(前月比…転入14人 転出38人 自然増減 -9人) 世帯5,986戸(前月比…-6)

平成29年 1月 15,818人(前月比…転入27人 転出29人 自然増減 -14人) 世帯5,989戸(前月比…+3)

### 河野浩一委員

昨年は台風や大雨の被害で農作物は大変な年でした。でも台風が来なければ豊作貧乏になります。どちらも大変です。

### 徳弘美津子委員長

読んでもらえる議会便りを作成。皆様にこれから川南がどう進もうとしているのかお伝えしていくことが必要です。

### 中村昭人委員

議会便りを通じ議会の動きを皆様に分かりやすくお伝えすべく編集作業に努めてまいります。

### 蓑原敏朗委員

川南を含む殆どの地方が疲弊しています。何もしないとズルズル後退する気がします。今がターニングポイントです。皆んなで頑張りましょう。

### 内藤逸子委員

身近に感じてもらえる町議会となるよう。憲法施行70年となる年に私も70歳となります。元気に発信して参ります。



新年あけましておめでとうございます

### 税田 榮副委員長

今年の干支は酉。とりにも色々ありますが何でも取って翔きたい。しかし歳は取りたくないですね。

編集・発行  
宮崎県川南町議会

〒889-1301  
宮崎県児湯郡川南町大字川南13680-1  
TEL (0983) 27-8017

発行者/川南町議会議長  
編集者/議会広報編集特別委員会  
印刷所/ヤマキ印刷